

## 第12期 財務諸表に対する注記

特定非営利活動法人 浜松NPOネットワークセンター

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日NPO法人会計基準協議会公表)によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
- (2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理  
施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。
- (3) ボランティアによる役務の提供  
ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。
- (4) 消費税等の会計処理  
税込み経理で行い、簡易課税制度を適用しているため、納付すべき消費税等の額は、諸税公課として必要経費に算入しています。

### 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	NPO支援事業	多様な人々の社会参加支援事業				事業部門計	管理部門	合計
		障害のある人々	多文化共生	ITによる支援	環境・地域の自立			
<b>I 経常収益</b>								
1. 受取会費					0	434,000		434,000
2. 受取寄付金	0	0	500,000	0	3,815	503,815	95,360	599,175
受入評価益	989,800	222,620	84,250	401,064	147,000	1,844,734	1,642,962	3,487,696
3. 受取助成金等	0	170,400	0	100,000	100,000	370,400	0	370,400
4. 事業収入	21,674,599	59,646,350	0	8,230,555	0	89,551,504	0	89,551,504
5. その他収益	0	0	32	0	0	32	19,402	19,434
<b>経常収益計</b>	<b>22,664,399</b>	<b>60,039,370</b>	<b>584,282</b>	<b>8,731,619</b>	<b>250,815</b>	<b>92,270,485</b>	<b>2,191,724</b>	<b>94,462,209</b>
<b>II 経常費用</b>								
(1) <b>人件費</b>								
給料手当	14,195,202	26,744,364	381,778	5,678,755	63,750	47,063,849	1,493,512	48,557,361
ボランティア評価益	989,800	222,620	84,250	267,000	147,000	1,710,670	498,250	2,208,920
法定福利費	1,961,064	2,867,496	55,701	295,648	797	5,180,706	209,700	5,390,406
厚生福利費	14,135	40,442	0	16,227	0	70,804	139,310	210,114
<b>人件費計</b>	<b>17,160,201</b>	<b>29,874,922</b>	<b>521,729</b>	<b>6,257,630</b>	<b>211,547</b>	<b>54,026,029</b>	<b>2,340,772</b>	<b>56,366,801</b>
(2) <b>その他経費</b>								
ジョブコーチ派遣費	0	15,102,674	0	0	0	15,102,674	0	15,102,674
支払謝金	2,696,888	1,706,724	17,333	732,630	24,200	5,177,775	0	5,177,775
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
外注費	0	0	0	513,600	0	513,600	0	513,600
旅費交通費	525,111	3,688,030	32,794	462,101	39,690	4,747,726	79,409	4,827,135
事業促進費	0	0	0	7,500	0	7,500	0	7,500
消耗品費	352,404	396,915	5,804	205,219	9,495	969,837	578,234	1,548,071
家賃地代	359,480	842,700	0	49,020	0	1,251,200	653,600	1,904,800
施設等評価費用	0	0	0	0	0	0	516,000	516,000
水道光熱費	31,600	166,898	0	0	0	198,498	78,999	277,497
印刷製本費	127,676	15,133	8,809	4,606	0	156,224	0	156,224
発送・通信	129,641	331,513	5,617	143,819	1,680	612,270	11,182	623,452
会議費	25,039	34,320	972	15,316	0	75,647	10,147	85,794
会場費・レンタル支払費	372,780	1,073,340	600	17,800	23,712	1,488,232	5,040	1,493,272
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
損害保険料	2,764	62,533	0	13,827	4,800	83,924	11,565	95,489
備品費	202,667	581,564	8,812	79,305	0	872,348	8,812	881,160
支払会費	89,000	6,000	0	0	0	95,000	7,200	102,200
寄付金支出	0	0	0	0	0	0	140,000	140,000
研修費	20,000	2,216,450	2,000	205,000	0	2,443,450	0	2,443,450
諸税公課	468,648	1,294,533	0	170,019	0	1,933,200	74,170	2,007,370
減価償却費	0	0	0	0	0	0	158,935	158,935
慶弔費	0	0	0	3,000	0	3,000	17,250	20,250
資料図書費	34,844	29,700	1,580	2,000	0	68,124	0	68,124
雑支出	6,191	33,071	569	1,575	0	41,406	20,179	61,585
雑損	0	0	4,660	0	0	4,660	2,549	7,209
<b>その他経費計</b>	<b>5,444,733</b>	<b>27,582,098</b>	<b>89,550</b>	<b>2,626,337</b>	<b>103,577</b>	<b>35,846,295</b>	<b>2,373,271</b>	<b>38,219,566</b>
<b>事業費計</b>	<b>22,604,934</b>	<b>57,457,020</b>	<b>611,279</b>	<b>8,883,967</b>	<b>315,124</b>	<b>89,872,324</b>	<b>4,714,043</b>	<b>94,586,367</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>59,465</b>	<b>2,582,350</b>	<b>△ 26,997</b>	<b>△ 152,348</b>	<b>△ 64,309</b>	<b>2,398,161</b>	<b>△ 2,522,319</b>	<b>△ 124,158</b>

### 3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

施設の提供等の物的サービスの受入の状況は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	役務提供益	算 定 根 拠
事務所(2室・合計約50坪)の利用	516,000	市場価格より安価で提供されているため、隣接する事務所一室分の家賃を参考にし、その差額を計上しました。
<b>合 計</b>	<b>516,000</b>	

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳  
 (1) 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	役務提供益	算 定 根 拠
管理部門の作業 (メール管理運営、労務・会計、事務作業ITシステム化、IT機器管理、事務所管理、来客・電話対応、総会・理事会運営)	498,250	雇用関係にあるスタッフによってボランティアに行われた活動時間に1000円をかけ、作業量にしたがって、最小単位の事業ごとに按分しました。根拠は作業日報です。
NPO支援事業 (相談・取材対応、全国会議等出席、MAF運営会議出席、市フォーラム事業)	989,800	雇用関係にあるスタッフによってボランティアに行われた活動時間に1000円をかけ、作業量にしたがって、最小単位の事業ごとに按分しました。根拠は作業日報です。
障害のある人の社会参加支援事業 (会議出席、相談)	222,620	雇用関係にあるスタッフによってボランティアに行われた活動時間に1000円をかけ、作業量にしたがって、最小単位の事業ごとに按分しました。根拠は作業日報です。
多文化共生 (「路上演劇祭」参加、進学ガイダンス相談対応)	84,250	雇用関係にあるスタッフによってボランティアに行われた活動時間に1000円をかけ、作業量にしたがって、最小単位の事業ごとに按分しました。根拠は作業日報です。
ITによる支援 (運営会議、施設向けICT講座開催)	267,000	雇用関係にあるスタッフによってボランティアに行われた活動時間に1000円をかけ、作業量にしたがって、最小単位の事業ごとに按分しました。根拠は作業日報です。
環境・地域の自立 (会議出席、安間川水仙プロジェクト)	147,000	雇用関係にあるスタッフによってボランティアに行われた活動時間に1000円をかけ、作業量にしたがって、最小単位の事業ごとに按分しました。根拠は作業日報です。
<b>合 計</b>	<b>2,208,920</b>	

- (2) その他の受け入れ状況

上記の他、以下の事業においてもボランティア(無償・一部交通費支給)のか方がご協力をいただいております。

- ・「水仙10年プロジェクト」において、水仙球根植え付け作業実施時に、安間川河川地域のおよそ30名の方々に半日ご協力をいただきました。
- ・「水仙10年プロジェクト」において、水仙球根植え付け作業実施のために、15名の方々に準備及び運営ボランティアとしてご協力いただきました。
- ・「水仙10年プロジェクト」において、「コセンダングサ引き抜き実験」(4回実施)において、延べ20名の方々にご協力をいただきました。
- ・福祉施設での1年間にわたるパソコン講座に関わり、延べ27名の方々にご協力をいただきました。
- ・IT支援事業運営のために「西部MMC委員会」開催に関わり、8名の方々に3日間ご協力をいただきました。
- ・IT支援事業運営のために、「西部MMCボランティアスタッフ会議」開催に関わり、7名の方々に12日間ご協力をいただきました。
- ・当法人役員(理事・監事)8名の方々に、事業運営に関わる相談等、ご協力をいただきました。

5. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は9,926,692円ですが、そのうち109,125円は多文化共生事業に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は9,817,567円です。

内 容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備 考
多文化共生事業	150,000	0	40,875	109,125	個人寄付金 仮受金計上
多文化共生事業	300,000	0	300,000	0	三井物産 仮受金計上
<b>合 計</b>	<b>450,000</b>	<b>0</b>	<b>340,875</b>	<b>109,125</b>	

6. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 什器備品	2,635,373	0	0	2,635,373	2,384,397	250,976
<b>合 計</b>		0	0	2,635,373	2,384,397	250,976

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	財務諸表に計上された金額	内役員・近親者との取引
(活動計算書)受取寄付金	599,175	20,000
活動計算書計	599,175	20,000
(貸借対照表) 仮受金	110,125	109,125
貸借対照表計	110,125	109,125
	<b>709,300</b>	<b>129,125</b>

8. 各プロジェクトの業績を適切に評価するためプロジェクト間の取引を内部取引として表しましたが、経常収益合計及び経常費用合計には含まれていません。